



2023年4月18日

SOMPOひまわり生命、ピクシーダストテクノロジーズ、塩野義製薬による 認知症予防・認知機能改善を目指した連携の開始 ～「ガンマ波サウンドを活用した生活に溶け込む認知機能ケア」への取り組み～

SOMPOひまわり生命保険株式会社（代表取締役社長CEO：大場 康弘、以下「当社」）、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社（代表取締役 落合 陽一、村上 泰一郎、以下「PxDT」）、塩野義製薬株式会社（代表取締役会長兼社長CEO：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、日常生活の中で認知症の予防、認知機能の改善が可能な社会の実現を目指す「ガンマ波サウンドを活用した生活に溶け込む認知機能ケア」に関する連携を開始します。

1. 連携経緯・目的

当社は、お客さまの万が一の備えに加え、毎日の健康を応援する「健康応援企業」の確立をビジョンに掲げ、保険本来の機能（Insurance）に健康をサポートする機能（Healthcare）を加えた「Insurhealth®（インシュアヘルス）」を、新たな価値として提供しています。2018年には「笑顔をまもる認知症保険」を発売し、認知機能低下の予防やMCIの早期発見などに取り組んできました。

PxDTと塩野義製薬は「生活に溶け込む認知機能ケア」というコンセプトを掲げ、脳の特定のリズム活動（ガンマ波）を強める音、「ガンマ波サウンド」を共同開発しました。「ガンマ波サウンド」は、テレビやラジオなど、日常のあらゆる音をリアルタイムに変調することで、生活をしながら認知機能をケアできる可能性がある音です。

国内において高齢者人口は増加し続けており、高齢化の進展に伴って認知症の有病者数はさらに増加すると予想されております。^{※1} 認知症は記憶、学習、言語能力、判断能力などの認知機能が障害されることでご本人のQOL（Quality of Life）が低下するとともに、介護者の肉体的、精神的、経済的負担にもつながり、社会に与える影響が大きい疾患です。一方で、既存治療法に対する患者満足度は高くなく^{※2}、新たなソリューションが求められています。

この社会課題解決に取り組むため、当社、PxDT および塩野義製薬の3社がそれぞれの取り組みを生かし、日常生活の中で認知症の予防・認知機能の改善を行うことが当たり前になる世界の実現を加速できると考え、連携を開始しました。

※1. 平成26年度厚生労働省科学研究費補助金特別研究事業「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」

※2. 令和2年度 国内基盤技術調査報告書「60 疾患に関する医療ニーズ調査（第6回）」分析編

2. 今後の展開

ガンマ波サウンドを活用したサービスの提供や新たな保険開発に繋がる検証や共同研究を行い、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質の商品・サービスを提供し、社会に貢献していきます。

以上